

《 コラム 》 Vol.54

身体が欲しがらる赤ワインのお話し

お金持ちのタイ人とお付き合いしていると、普通ではできない経験をさせて頂くことがたまにあります。

例えば、バンコクに流れているチャオプラヤー川のナイトクルーズに招待されたとき。

数あるクルーズ船の中でも、一番大きい船の席を予約してくれました。

定員が 500 人以上のクルーズ船、中にはエスカレーターが付いていました。

驚いたのが予約してくれた席。

なんと、その船の最先端の特等席！（なかなか気が利いております。）

またある日は、ゴルフの帰りにゴルフ場からホテルまでポルシェで送ってくれたり、などがあつたりします。

（爺さん 2 人でポルシェ、それもどうかと思いますが・・・）

そしてこれからお話しする経験も普段できないものでした。

平日のある日、ゴルフのお誘いがありました。

タイ人 3 人とプレーしたのですが、一人は商社の社長さん、一人は日系企業の重役、そしてもう一人は幾つもの会社を経営している会社のオーナー。

皆さんお金持ちです。（少し恵んで頂きたい・・・）

この日は会社のオーナーが、出張の帰りにたまたま免税店で購入した赤ワインを持って来てくれました。

ゴルフが終わってから飲もうということで、赤ワインをゴルフ場のレストランで冷やしてもらうことに。

楽しくプレーを終えてシャワーを浴び、レストランで食事となりました。

幾つかのタイ料理とビールをオーダー。

まずはビールで乾杯！ 汗をかいた後のビールは格別です。

そして冷やしておいた赤ワインを注いでもらう事に。

「どんな味なんだろう・・・」と思いつつ、少し口に入れてみました。

「なんなんだ、このワイン！！！」頭の中に衝撃が走ります。

そのお味、今まで飲んだことのない衝撃的な味でした。

濃厚でめちゃくちゃ飲みやすい、そしてとても美味しい。

ワインど素人の私でも分かりました。

ゴルフの後でまだのどが渇いている状態でしたが、その時はビールよりもその赤ワインが飲みたくてしょうがありません。
完全に身体が欲しております、その赤ワインを。
そしてあっという間にボトルが空に。

「このワイン美味しいですね～、幾ら位したの？」と価格をオーナーに尋ねると、
「免税店で1万バーツ。」さらりと言っただけです。

「1万バーツ!!!」これにはちょっと驚きました。

1万バーツは当時のレートで約3万円!

免税店でその価格なので、市場では倍の6万円!

1本6万円の赤ワイン!

なかなか貴重な経験をさせて頂きました。(感謝!)

その赤ワインは米国カリフォルニア産という事を覚えていたのですが、
銘柄を記憶しておくのを忘れてしまいました。

気になったので後日調べてみました、カリフォルニアの1本6万円の赤ワイン。

ありました、その銘柄は「オーパス・ワン」。

今のレートですと約8万円します、オーパス・ワン。

デパートや一流ホテルのレストランなどでたまにお見掛けします。

一般の庶民にはとてもじゃないが手が出ません。

でも、試飲でしたらなんとか飲めそうです。

ハウステンボスのワインの城でテイastingできます。

<https://www.huistenbosch.co.jp/shopping/2/item#tab310>

気になるそのお値段、35mlでなんと5300円!

試飲でもちょっとやそっとじゃ手が出ません。

恐るべし、オーパス・ワン。

話が長くなりますので、今回はこの辺で。

追伸:

今年の4月にタイの免税店でオーパス・ワンを見かけました。

そしてその隣に日本を誇るウイスキー「山崎」がありました。

その金額、なんとオーパス・ワンよりも高いではないですか!

以前は免税店で山崎(当時は数千円だったと思います)を毎回購入していたのですが……。

今ではオーパス・ワンよりも高価になってしまいました。(残念!)